

R7. 7. 28 林業環境政策課

学校林のアンケート調査について

調査の背景と目的

- ・森林環境保全基金運営委員会（以下「委員会」）では、これまで学校林の整備や活用が十分に進んでいない現状について問題提起がなされていたところ。
- ・令和6年度第2回委員会において、令和3年度に国土緑化推進機構が実施した学校林現況調査の結果概要を示し、委員の意見を伺った。その際、各学校が学校林をどのように活用したいと考えているか、また近隣に学校林等のフィールドがあった場合に利用したいと考えるかなど、具体的な調査を行う必要があるとの意見をいただいた。
- ・については、各学校の学校林の活用状況や、今後の活用の方針等について把握し、学校林を活用した森林環境学習の支援の方向性を検討するため、別紙調査票（案）を用いてアンケートを実施する。

調査対象

県内の小学校、中学校、高等学校、義務教育学校（私立学校を含む）

調査時期

令和7年8月

調査項目

別紙調査票（案）のとおり

調査結果について

次回委員会に報告の上、森林環境税を活用した支援の方向性等について検討を行う。

Q4	【Q2で「活用していない」と回答した場合】 学校林を活用していない理由は何ですか。（複数回答可）
学校林への距離が遠い	
活用時間が確保できない	
事故などの安全面のリスクの懸念	
森林の管理が行き届いておらず、利用が困難	
木が生長して、体験等に使える場所がない	
森林環境学習を実施できる指導者が不足	
森林環境学習のプログラムの組み方が分からない	
その他（下欄に理由を記載してください）	

⇒Q5へ

Q5	学校林の管理に関して、今後の方針をどのようにお考えですか。
現状を維持したい	
植樹や間伐等の整備を行いたい	
管理が負担となることや、活用する予定もないことから、処分したい	
学校林を新たに取得し、面積を拡大したい	
未定	
その他（下欄に方針を記載してください）	

⇒Q6へ

Q6	<p>県では、環境先進企業との「協働の森づくり事業」に取り組んでいます。この事業では、環境問題に積極的に取り組んでいる企業や団体の皆様と、市町村・県などが「協働の森パートナーズ協定」を締結し、企業からの協賛金をもとに、森林の整備や、企業の皆様と地域との交流活動（間伐体験など）を実施しています。近年、この協働の森づくり事業における森林整備や交流活動のフィールドが不足しており、県としては、学校林の活用を検討しています。学校林を協働の森づくり事業のフィールドとして活用することについて、どのようにお考えですか。</p> <p>（協働の森づくり事業での学校林の取組事例についてはこちら（がんばれ高知!! eco応援団 旧平山小学校 学校林）→https://www.kutv.co.jp/eco/eco-2568761/）</p> <p>（協働の森づくり事業について詳しくはこちら→https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/kyoudounomori/）</p>
活用を検討したい	
活用するつもりはない	
分からない	

⇒終了

Q7	【Q1で「所有していない」と回答した場合】 学校の近隣に学校林や、市町村有林、地域住民で管理している里山など、森林環境学習に活用できるフィールドがあれば、環境学習の授業などで活用したいと考えますか。
新たに学校林を所有して活用したい	
他の学校の学校林や市町村有林、里山などを借りて活用したい	
活用するつもりはない	
分からない	

⇒Q8へ

⇒Q9へ

⇒終了

Q8	【Q7で「活用したい」と回答した場合】 どのような取組に活用したいですか。（複数回答可）	
間伐体験		
植樹体験		
下草刈・枝打ち		
植物観察・調査		
動物観察・調査		
山菜・茸採り		
椎茸栽培		
森林散策		
ネイチャーゲーム		
木材利用		
その他（下欄に内容を記載してください）		

⇒終了

Q9	【Q7で「活用するつもりはない」と回答した場合】 その理由を記載してください。	
活用時間が確保できない		
事故などの安全面のリスクの懸念		
森林の管理が負担		
森林環境学習を実施できる指導者が不足		
森林環境学習のプログラムの組み方が分からない		
その他（下欄に理由を記載してください）		

アンケートは以上です。お忙しいところご協力いただき誠にありがとうございました。（なお、ご回答の内容について、直接お問い合わせさせていただく場合がありますのでご了承ください。）